

岡山県酪農及び肉用牛生産近代化計画について

岡山県農林水産部畜産課

岡山県では、「酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律」（昭和29年制定）に基づき、平成32年度を目標年度とする「岡山県酪農及び肉用牛生産近代化計画」を策定したので、その概要を報告します。

1 計画策定の目的

本県の酪農及び肉用牛生産の近代化を総合的かつ計画的に推進し、酪農及び肉用牛経営の安定的な発展と牛乳・乳製品及び牛肉の安定供給に資することを目的としています。

2 基本方針

本県の畜産業の安定的な発展と消費者ニーズに応えた畜産物の安定供給を実現するため、生産基盤の維持・強化、ブランド化と新販路の開拓、家畜の改良、水田等地域資源の有効活用などを推進し、持続可能で自給飼料基盤に立脚した酪農及び肉用牛生産への転換を図るとともに、さらなる消費拡大対策や安全・安心の確保対策等のほか、畜産に対する県民の理解の確保にも努めることとしています。

3 具体的な方策は、以下のとおりであり、今後その実現に向けて取り組んでいきます。

(1) 持続可能な酪農及び肉用牛生産への転換

ア [生産基盤の維持・強化]

- (ア) 就農希望者と経営移譲希望者とを仲介するシステムを構築する。
- (イ) 農家同士で組織する協業法人の経営体を育成する。
- (ウ) 女性の経営参画を推進する。
- (エ) 飼養管理技術等の高度化を促進す

る。

- (オ) 酪農・肉用牛ヘルパーの充実強化や公共育成牧場の機能強化を図る。
- (カ) 特定家畜伝染病の発生予防とまん延防止対策を強化する。
- (キ) 家畜の快適性に配慮した飼養管理を推進する。
- (ク) 畜産関係流通団体や家畜市場の一層の機能強化を図る。

イ [畜産物のブランド化と新販路の開拓]

- (ア) 稲発酵粗飼料や飼料米の多給、周年放牧等地域資源などの新たな特徴にも着目した畜産物のブランド化を推進する。
- (イ) ジャージー種の特徴を活かした牛乳・乳製品の開発など6次産業化を推進する。
- (ウ) 東アジア地域の富裕層をターゲットに、県産畜産物の輸出を推進する。

ウ [家畜の改良]

- (ア) 乳牛については、農林水産総合センター畜産研究所が中心となり受精卵移植技術による優良遺伝子の増殖と牛群検定情報分析センターの機能強化を図る。

また、泌乳持続性に着目した改良による生涯生産性の向上を図る。

- (イ) 和牛については、脂肪交雑の向上を図りつつ育種価データや受精卵移植技術を活用し、肉質・肉量に優れた系統を維持・発展させる。

また、オレイン酸等の新たな指標に着目した改良や子牛生産指数等を活用した雌牛群の繁殖性の向上と資質の高

い肥育素牛の生産を推進する。

エ [指導体制の連携・強化]

畜産コンサルタント、酪農経営支援チームや岡山和牛子牛資質向上対策協議会の積極的な活用を図る。

(2) 自給飼料基盤に立脚した酪農及び肉用牛生産への転換

ア [水田等地域資源の有効活用による自給飼料基盤の確立]

(ア) 本県の気象条件や土地条件等に適応した飼料作物の生産利用の拡大を図る。

(イ) 飼料用稲に係る多収性品種・栽培技術の普及を図る。

(ウ) 耕種地帯から畜産地帯への効率的な粗飼料流通体制の構築を図る。

(エ) コントラクターなどの支援組織の育成を推進する。

(オ) コントラクターの経営の高度化とサービス事業体への発展を図る。

(カ) 耕畜連携による資源循環を推進する。

(キ) 耕作放棄地等への放牧を推進する。

(ク) 農場副産物、食品残さ、河川敷野草等多様な飼料資源の活用を図る。

(3) 消費者ニーズに応えた畜産物の生産・加工・流通と畜産に対する県民の理解の確保

ア [牛乳・乳製品の消費拡大]

(ア) 食育等を通じた機能性・有用性等に関する正確な情報提供を図る。

(イ) 日常の家庭料理において活用されるよう料理の普及を図る。

イ [県産牛肉の消費拡大]

(ア) 生産者団体による直接販売ルートの新規開拓・拡大を図る。

(イ) 品種ごとの商品特性を分かりやすく消費者に情報提供する。

ウ [地産地消の推進]

地場畜産物の利用・拡大のため地産地消を推進する。

エ [安全・安心の確保]

(ア) 飼養衛生管理基準に即した家畜の衛生管理の強化を図る。

(イ) 農場段階におけるHACCPシステムの普及・定着を図る。

(ウ) 飼料用作物等の栽培に際し農薬使用基準の遵守を啓発する。

オ [県民への理解醸成]

(ア) 食育活動を積極的に推進する。

(イ) 自給飼料基盤に立脚した生産を行うことの意義や生産資材等が高騰している生産現場の状況などについて関係団体と連携しながら県民への理解醸成を図る。

4 酪農及び肉用牛の生産構造の目標

【酪農】

	総頭数(頭)	経産牛数(頭)	生乳生産量(t)	産乳能力(kg/頭)
現況(H20)	19,624	14,381	112,756	7,841
目標(H32)	17,156	12,181	105,609	8,670
目標/現況(%)	87.4	84.7	93.7	110.6

【肉用牛】

	総頭数(頭)	繁殖雌牛 (子牛除く)※	肉専用種 肥育牛	乳用種等 肥育牛
現況(H20)	34,100	5,460	6,970	21,670
目標(H32)	34,826	5,707	7,048	22,071
目標/現況(%)	102.1	104.5	101.1	101.9

※:0~8ヶ月齢の子牛は頭数に含まず。

【飼料自給率】

	粗飼料自給率	飼料自給率
現況(H20)	52.6	15.9
目標(H32)	72.8	21.8